

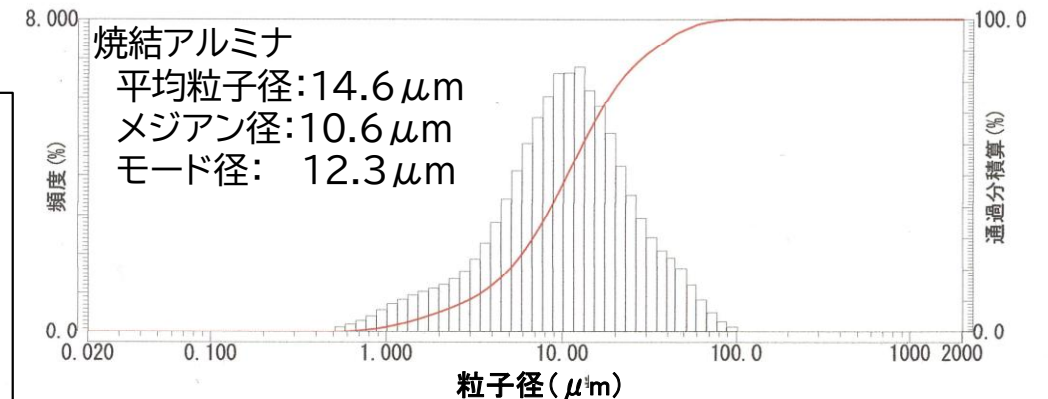
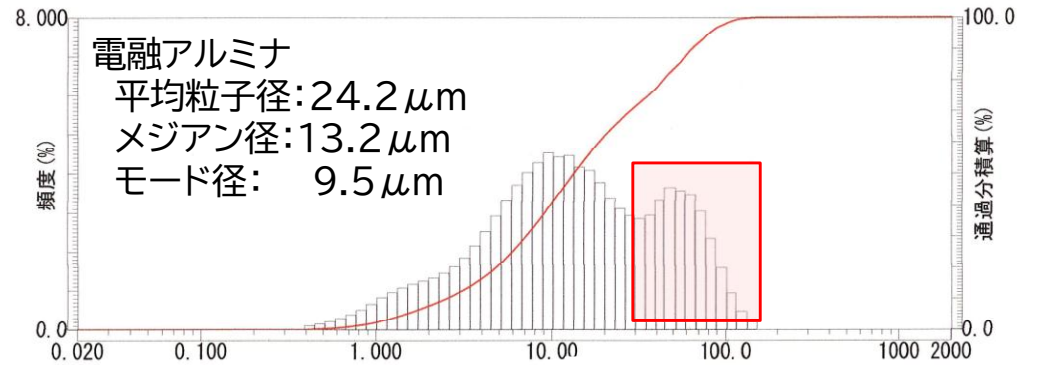
比表面積と粒度分布測定結果

比表面積の測定結果

単位: (m²/g)

サンプル名	粒度	
	3-1mm	-0.1mm
電融アルミナ	0.07	0.64
焼結アルミナ	0.06	0.73

- ①電融アルミナ、焼結アルミナともに比表面積は3-1mmでは0.1m²/g程度になっているのに対して、-0.1mmでは0.6~0.7m²/gと10倍程度の比表面積となっており、粒径が小さいほど比表面積が大きくなることが明確となっている。
- ②-0.1mmでは焼結アルミナの方が0.1m²/g比表面積が大きくなっている。
- ③これは右の粒度分布測定結果からわかるように、上図の電融アルミナでは赤枠部の数十μmの分布が多くなっている。このため、平均粒子径が焼結アルミナの14.6μmに対して、電融アルミナは24.2μmと平均粒子径が大きくなっている事で、比表面積の値が小さくなったと考えられる。



アルミナ原料の粒度分布測定結果(-0.1mm)

用語解説

- ・メジアン径 : 粒子全部の内の積算頻度が50%となる粒子径 (D50とも言われる)
- ・モード径 : 最も粒子頻度が大きい粒子径